

令和4年度

事業計画書(案)

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月 31日

社会福祉法人 与勝福社会

## 令和4年度与勝福祉社会事業計画（案）

### 基本理念

法人運営にあたっては、継続して経営組織体制の強化を図るとともに、安定した財務基盤の確立を目指します。

利用者の立場に立った質の高いサービス提供を行うとともに、社会貢献活動への取り組みを拡充していきます。

職員の雇用確保と人材育成に努め、新たな社会資源を活用して業務改善を進めていきます。

### 基本方針

1. 事業と財務の安定及び改善を図り、人事管理についても ITC 等を活用した業務の効率化を図ります。
2. 利用者の立場に立った事業の継続と業務の見直しおこないます。
3. 職員雇用の安定と人材育成に努めるとともに、地域福祉の充実へ寄与します。

### 職員理念

奉仕性豊かな心、創造性豊かな心、行動性豊かな心、協調性豊かな心を職員理念として掲げ人材育成に努めます。又、職員の役割として、専門職として倫理綱領を遵守します。

### 職員の資質向上について

専門性の向上のために、施設内外の研修等に積極的に参加すると共に、社会福祉の専門職員として資格の取得を推進します。

### 新型コロナウイルス感染症予防について

新型コロナウイルス感染症の終息がみえない状況の中、感染予防を継続して強化するとともに、行政と協力して利用者及び職員のワクチン接種に向けて取り組んでいきます。

### 非常災害対策

火災及び地震・津波避難訓練を実施し、防災体制の向上を図ります。

### 評議員会の開催

評議員会は、定時評議員会として年一回開催します。定時評議員会のほかに、理事長が必要と認めたときには随時、評議員会を開催します。

### 理事会の開催

理事会の定例会は、年三回開催します。定例の理事会のほかに、理事長が必要と認めたときには随時、理事会を開催します。

### 理事調整会議の開催

毎月理事調整会議を開催し、各事業所の現況を報告すると共に、法人業務執行の協議等を行います。

### 監事監査の実施

監事監査を5月と10月に定例で実施し、そのほか監事が必要と認めたときには監査を行います。

### 第三者委員への苦情等の報告

利用者等からの苦情に対して、第三者委員へ苦情内容の報告を行い、必要に応じて協議し助言を受けます。また、年一回は各事業所で、対応、解決した苦情等について、第三者委員への報告会を実施します。

### 施設長会議の実施

毎月理事長及び各施設長で施設長会議を開催し、各施設の現況を報告すると共に、各施設の業務執行の協議等を行います。

### 管理者会議の実施

週一回各施設長、課長及び各管理者で管理者会議を開催し、各事業所の現況を報告すると共に、各事業所の業務執行の協議及び課題等について話し合います。

### 食の自立支援事業の実施

在宅で調理が困難な高齢者に対して定期的に弁当を宅配し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、配達者によって健康状態を含めた安否確認を行なうことにより、健康で自立した生活を送ることができるよう支援を行ない、高齢者及びその家族の身体的・精神的負担の軽減を図ります。

### 地域貢献事業の実施

地域に根ざした施設を目指し、地域の福祉・生活課題の解消に向けた具体的な取り組みを通して、地域との交流、貢献活動を行います。

### 主な事業内容

- (1) うるま市の「食の自立支援事業」には該当しない、食の確保が困難な高齢者等へ配食サービスを計画的に提供することにより、食生活の改善を図

るとともに、安否確認を行います。

- (2) 津堅島にて家族のみでは外出が困難な障害者・高齢者等へ、施設の公用車を使用して外出の支援を行います。
- (3) 地域自治会の行事及びミニディサービス等の活動に参加協力を行います。
- (4) 学生の介護体験やボランティアの受け入れを行います。

令和4年度

事業計画書(案)

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月 31日

特別養護老人ホーム 与勝の里  
短期入所生活介護事業所与勝の里

# 令和4年度事業計画(案)

特別養護老人ホーム与勝の里  
短期入所事業与勝の里

## 1. 基本方針

利用者の立場に立って、安全で、明るく、楽しい家庭的な雰囲気の中、尊厳と自立支援をケアの基本として、利用者が生きがいのある生活が送れるような、施設作りを目指します。

## 2. 重点目標

### (1) 感染症対策

新型コロナウイルス等への感染予防策を徹底し、施設内への感染対策を行っていきます。

### (2) 心身機能の維持向上

安心した生活が送れるように、個々の身体状況に応じた環境整備を行い、事故防止に努めます。

精神面の安定が図れるように、感染症対策を行いながら面会を実施していきます。

### (3) 個別機能訓練の実施

日常生活において、残存機能の活用・個別機能訓練を実施し、多職種連携しながら、ADL維持向上を目指します。

### (4) 看取りケアの充実

嘱託医・各専門職員・ご家族との協力体制のもと、看取りケアの充実に努めます。

### (5) 短期入所に於いては、在宅介護が継続できるように、生活リハ強化と個別ケアに努めます。

### (6) 個々の状態に応じた食事を提供し、継続した栄養管理を行うと共に利用者の満足度アップを目指します。

### (7) 介護サービスの見直しを行い、個別ケアが提供できるように、介護スキルの標準化を図ります。

### (8) 権利擁護については、施設内外の研修等へ積極的に参加し、身体拘束ゼロを目指します。

## 3. 事業内容

### (1) ケアマネジメントについて

①入所前の生活状況や利用者本人、ご家族の意向を把握し、個々に合ったケアプランを作成します。

② ケア内容については、随時状況の確認を行いながら、利用者、ご家族及びサービスに関わる職員と協議を行い、ご家族へ説明して、同意を得てサービスを提供します。

## (2) 日常生活の援助

- ① 利用者本位を念頭に、丁寧な言葉遣いや思いやりの態度で接します。
- ② 個々の生活スタイルを尊重して、趣味や役割の継続、屋外活動、リハビリを通して、生き甲斐を見出せるように援助します。
- ③ 入浴、排泄、食事の日常生活の援助、生活相談等のメンタルケア、健康管理及び療養上の支援を行います。
- ④ 利用者の自立支援を念頭に、本人の体調等を考慮しながら、温食給食に努め、可能な限り離床を促し、食堂で楽しく食事がいただけるように努めます。
- ⑤ 利用者の権利擁護を尊重して、身体拘束ゼロを目指します。
- ⑥ 利用者の日常生活において、安全確認を心掛け、必要に応じて福祉用具を活用し、安心・安全な生活が送れる環境作りに努めます。

## (3) 健康管理

- ① 随時利用者の体調確認を行いながら嘱託医と連携を図り、疾病の早期発見、早期治療に努め、定期健康診断を年1回実施します。
- ② 食事については、管理栄養士を中心に随時嗜好調査・残食調査を実施して、必要に応じて食事内容の変更等、迅速に対応していきます。おやつバイキングを年6回実施して、他者との交流を含め、おやつメニューの充実に努めます。また、低栄養リスクの高い方へは、栄養状態・嗜好を考慮した食事の調整を行い、定期的に食事の観察を行っていきます。それから、食事支援のあり方に関する知識、技術の向上を図り、個々の状態に応じた食事の形態を考慮して、利用者の満足度アップを目指します。
- ③ 衛生管理については、厨房内及び施設全館の害虫駆除を年2回行います。
- ④ 感染症対策に於いて、職員や来園者による感染症の持ち込みが無いように、入園前の検温・アルコールによる手指消毒の徹底・マスク着用。面談が必要な場合は、屋外での面談やWEB機能を活用した面談を行います。また、利用者に於いては、毎日の健康チェックを行いながら、御家族との面会の際は、屋外・ガラス越し、またはWEB機能を活用するなど、地域の感染状況を確認しながら面会方法の工夫を行っていきます。

#### (4) 環境整備

- ① 利用者の状態に応じて、モジュール車椅子・超低床ベッド・褥瘡予防エアマット・ベット上(床)センサーマット等の福祉用具を活用し、安全確保を行っていきます。

#### (5) 看取りケア・重度者ケアの充実支援

- ① 御家族へ、適切な助言を行いながら看取りへの不安を軽減して、可能な限り本人・ご家族の意向を尊重し、満足していただける看取りケアに努めていきます。本人とご家族が気兼ねなく過ごせるよう、個室を提供します。

#### (6) 地域交流及び地域貢献

- ① 地域に根ざした施設作りを目指して、施設行事等への案内、地域の保育園、小・中・高校生の職場体験学習、ボランティアを受け入れ、また地域行事などへ積極的に参加し、地域とのつながりを大切にします。
- ② 実習生について、福祉施設として可能な限り受け入れて、介護技術の指導援助を行い、その育成に努めます。
- ③ 公益的な取り組みを強化して、地域貢献に努めます。
- ④ 沖縄県災害派遣福祉チーム(DWATおきなわ)への登録を行い、災害時の派遣体制を整備します。

#### (7) 非常災害対策

- ① 感染症を含め、万が一の災害に備えて、BCP(事業継続計画)を策定します。
- ② 年2回の防災訓練(避難・通報・消火)を実施して、防災意識の高揚に努めます。
- ③ 消火器具の取り扱い方法を、熟知すると共に、設備等の定期点検を実施します。
- ④ 火災の原因につながる、器具の取り扱いや、定期点検を徹底します。

#### (8) 介護サービスの標準化

- ① 随時勉強会を開催して、介護技術の向上・ケア内容の統一を図ります。
- ② 各種マニュアルの見直しを行います。
- ③ OJTを活用し、接遇や新人職員の技術向上を図ります。

#### (9) 職員の資質の向上

- ① 研修会への積極的参加と研修報告会の実施
- ② 施設内事例研究発表会への参加
- ③ 5法人合同勉強会の継続と参加(結ま〜る連絡会)
- ④ 県内外の老人福祉施設研究大会等への参加



- ⑤ 施設各部署連絡会への参加
  - ⑥ 認知症介護実践者研修会への派遣の計画的実施
  - ⑦ その他、関係機関によって随時計画される福祉関係研修会への参加
  - ⑧ 専門性の向上の為に、社会福祉の専門職員としての資格を習得するように努めます。
- (10) 短期入所生活介護事業について。
- ① 利用者の皆様が、明るく、楽しくサービスを利用していただきながら、可能な限り在宅生活が維持出来るように支援します。また、職員の資質の向上を図るとともに、関連機関と居宅介護支援事業所との連携を密にして利用者の確保に努めます。
- (11) うるま市高齢者等緊急一時保護事業及び措置入所について。
- ① うるま市が利用決定した、災害時又は虐待等により、緊急に保護を必要とする高齢者を受け入れ、安全な生活を確保します。

# 令和4年度行事計画

特別養護老人ホーム与勝の里

月		行事予定	月		行事予定	
4月		ユニット会議	10月		ユニット会議	
	15 金	開設40周年				主任会議
		集団検診（入所者・職員）				職務会
		職務会				※米寿・カジマヤー合同祝い
		主任会議				
5月		ユニット会議	11月		ユニット会議	
		主任会議・介護サービス課会議				主任会議・介護サービス課会議
		母の日会				第3回 ミニ運動会
		鯉のぼり集会				全館消毒
						夜間想定避難訓練
6月		ユニット会議	12月		ユニット会議	
		主任会議				主任会議
		父の日会				
		地域のハーリー見学・参加		25 土		クリスマス会
		消火避難訓練				家族会との大掃除
		職務会				職務会
7月		ユニット会議	1月	3 火	年賀式	
	7 水	七夕集会				ユニット会議
		主任会議・介護サービス課会議				主任会議・介護サービス課会議
		害虫駆除		10 火		ムーチー作り
						害虫駆除
8月		ユニット会議	2月		ユニット会議	
		主任会議				節分
		第38回 与勝の里祭り				主任・介護サービス課会議
		※8/10（ウンケー）8/12（ウークイ）				沖縄マラソン応援
						初詣参拝
9月		ユニット会議	3月		ユニット会議	
		主任・介護サービス課会議				ひなまつり集会
	10 土	十五夜				主任・介護サービス課会議
	19 月	敬老会				
		合同レク交流会（デイとの交流会）				

※ 1月・3月・5月・7月・9月・10月におやつバイキング予定

※ 各ユニットにて、二カ月に一度 合同誕生日会開催

## 令和4年度研修計画

月	研修会名	開催者・場所	参加人数	研修日数	参加者
4月	機能訓練員連絡会		1名	半日	機能訓練員
	看護師連絡会		1名	半日	看護師
5月	相談員連絡会		1名	半日	相談員
6月	県介護支援専門員研修会	県総合福祉センター	1名	半日	介護支援専門員
	結ま～る連絡会 合同勉強会		10名		全職員より
	ケアマネ連絡会	県総合福祉センター	1名		介護支援専門員
	身体拘束廃止勉強会	施設内			全職員
7月	九州老人福祉施設研究大会				
8月	認知症介護実践者研修	じんぶん館	1名		介護員
9月	県喀痰吸引研修		2名		介護員
	結ま～る連絡会 合同勉強会		10名		全職員より
	認知症介護実践セミナー				介護員
10月	相談員連絡会		1名	半日	相談員
11月	看護師連絡会		1名	半日	看護師
	沖縄県老人福祉施設職員研究大会				
	全国老人福祉施設研究大会				
	結ま～る連絡会 合同勉強会				
12月	施設ケアマネ連絡会		1名		介護支援専門員
	結ま～る連絡会 合同勉強会		10名		全職員より
1月	県介護支援専門員研修会		1名		介護支援専門員
	認知症介護実践者研修		1名		介護員
2月	施設内介護実践発表会				
	生活相談員連絡会		1名	半日	相談員
	機能訓練員連絡会		1名	半日	機能訓練員
3月	結ま～る連絡会 合同勉強会		10名		全職員より

## 令和4年度実習受け入れ計画

月	実習機関	種別	日数	内 容	人数	備 考
4月						
5月	美咲特別支援学校	実習	1日	職場体験学習	1名	
6月	沖縄高等特別支援学校	実習	14日	就業体験	2名	
	与勝第二中学校	実習	2日	福祉体験学習	3名	
7月	中部農林高等学校	実習	4日	介護実習	3名	
	具志川職業能力開発校	実習	5日	企業実習	1名	
8月	与那城小学校	実習	1日	現場見学学習	1名	
9月						
10月	中部農林高等学校	実習	3日	介護実習	2名	
11月	ニチイ学館	実習		介護職員養成実習	1名	
12月	地域若者サポートステーション沖縄	実習	5日	職場体験	1名	
1月						
2月	与勝緑が丘中学校	実習	3日	勤労体験学習	3名	
3月						

令和4年度

事業計画書(案)

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月 31日

通所介護事業所 与勝の里

# 令和4年度 事業計画

通所介護事業所 与勝の里

## 1. 基本方針

介護保険法の主旨に従って、利用者の意思及び人格を尊重して、可能な限り居宅に於いて、その有する能力に応じた日常生活を営むことが出来る様に、機能訓練を行うと共に、その他必要な援助を行います。

事業の実施に当たっては、関係機関・地域の保健・福祉サービス機関と綿密な連携を図り、総合的かつ公正中立な、サービス提供に努めます。

## 2. 重点目標

- (1) 感染症防止に向けた取り組みを徹底し、利用者が安全・安心して利用出来るように環境を整えます。
- (2) 通常規模事業所算定のひと月延べ750人上限を目標に継続維持できるよう努めます。
- (3) 多職種との連携を図り、通所介護計画等による利用者へのサービス向上に努めます。
- (4) 日常生活での自立を意識した機能訓練に取り組みます。
- (5) 認知症については、認知症介護実践者研修等へ参加して、知識を高め、支援強化に努めます。

## 3. 事業内容

### (1) 感染症予防

- ① ホール内、トイレの清掃を毎回行います。
- ② 施設内外の大掃除を行うと共に、害虫駆除を実施します。
- ③ テーブルや椅子、手すり、訓練機器などのアルコール消毒を徹底します。
- ④ 感染症の予防の観点からマスクの着用、手洗い、アルコールでの手指の消毒、うがいを励行し、感染予防に努めます。
- ⑤ 職員、利用者ともに感染拡大防止の観点から、3つの密を避ける必要があるため、定期的換気を行い利用者同士の距離についても配慮します。
- ⑥ 職員は出勤時に体温測定、アルコールでの手指の消毒及びマスクの着用を行います。  
※発熱(37.5℃以上)等が認められる場合には出勤を行わない事を徹底します。
- ⑦ 施設への立ち入りについて、物品や書類等の受渡し等は玄関先など限られた場所で行います。また、施設内に立ち入る場合は、日付・業者名・氏名・体温測定・アルコールによる手

指の消毒、マスクの着用を徹底します。

## (2) 稼働率の向上

居宅介護支援事業所および他事業所と連携を密にして、空き状況などを提供しながら、利用者稼働率の向上に努めます。

## (3) 通所介護計画書によるサービスの提供

利用者の有する能力に応じて、自立した日常生活が営めるように、各居宅介護支援事業所の介護支援専門員が作成した、居宅サービス計画に基づいて、通所介護計画書の作成を行い、サービス提供を行います。

## (4) サービス内容

### ①身体介護サービス

利用者の残存機能を生かして、排泄・移動・移乗その他、必要な介助を行います。

### ②入浴サービス

プライバシーに留意して、男女別の浴室において入浴を提供します。体調により入浴が困難な時には、清拭を行い清潔保持に努めます。

### ③食事サービス

各テーブルにおいて、和やかな雰囲気での食事の提供を行います。また、必要に応じて見守りや食事介助を行います。

食事形態についても事前にアセスメントで確認し利用者に応じた食事を提供します。併せてアレルギーや嗜好についても管理栄養士及び栄養士と相談（多職種協同）しながら代替えの食事を提供します。

### ④送迎サービス

送迎車により、ご自宅と事業所の間を、安全に留意して送迎を行います。また、感染症予防の為、迎え時には本人及び家族へ体調の確認。マスク着用の徹底、アルコールでの手指の消毒、体温測定を行い、事業所へウイルスを持ち込まない様にします。万が一、体温測定時に発熱がある場合（37.5℃以上）は利用を控えてもらいます。

### ⑤相談助言サービス

利用者及びその家族の日常生活における、介護等に関する相談助言を行い、各関係機関と連絡調整をして、生活の向上を目指します。

⑥健康管理

利用者の身体的、精神的状況の把握に努め、状態変化が生じた場合には家族、介護支援専門員等と連絡を取り、適切に対応します。

⑦認知症支援

認知症を患う利用者があるがままに受け止め、認知予防訓練(寄り添いケア、脳トレーニング、パズル盤、運動、体操)を行い支援していきます。

⑧機能訓練

利用者の自立支援に向けて、個々に合った個別機能訓練計画書(個別機能訓練加算Ⅰ)を作成し、それに基づいた訓練を行います。

(5) 行事等

- ① 利用者の要望を取り入れた年間行事計画を立案します。
- ② 地域社会との交流を行い利用者の意欲向上を図ります。

(6) 介護予防サービスへの取り組み

季節毎の手工芸教室を開催すると共に、地域との交流を深めて、介護予防に努めます。

(7) 職員の資質向上

- ① 施設内研修及び県内外の研修に積極的に参加します。
- ② 研修の報告はデイサービス会議の中で行います。
- ③ 施設内事例研究発表会へ積極的に参加します。



令和4年度 行事計画

通所介護事業所与勝の里

月度	与勝の里行事予定表	月度	与勝の里行事予定表
4 月	春のミニ運動会	10 月	南原小ふれあい交流会
	クイズ大会		昼食バイキング
	趣味活動		ビンゴゲーム
	昼食バイキング		トーチ・カジマヤー祝い
	沖縄芝居観賞		園庭散歩
	第14回南風原ミニデイとの交流会		沖縄芝居鑑賞
	誕生会		誕生会
5 月	屋台祭り	11 月	秋のミニ運動会
	母の日会		沖縄芝居鑑賞
	平敷屋ミニデイとの交流会		地震・津波避難訓練
	鯉のぼり集会		風船バレー大会
	誕生会		趣味活動
	かるた大会		園庭散歩
	園庭散歩		誕生会
6 月	卓球大会	12 月	手工芸
	昼食バイキング		沖縄芝居鑑賞
	父の日会		おやつ作り
	ハーリー見学		昼食バイキング
	趣味活動		デイ発表会
	誕生会		クリスマス会
	手工芸		誕生会
7 月	七夕短冊作り	1 月	年賀式
	七夕まつり		新春マラソン大会
	デイ避難訓練		初詣
	ビンゴゲーム		新春餅つき大会
	園庭散歩		沖縄芝居鑑賞
	誕生会		新春書初め
	漬物作り		誕生会
8 月	ミニカラオケ大会	2 月	節分会
	読書会		手工芸
	スポーツ大会		昼食バイキング
	沖縄芝居観賞		花見・初詣
	盆踊り祭り		園庭散歩
	誕生会		デイ避難訓練
	昼食バイキング		誕生会
9 月	敬老の日会	3 月	ひなまつり会
	流しソーメン		沖縄芝居観賞
	バレーボール大会		かるた大会
	敬老会		今年の頑張り賞
	ビンゴゲーム		誕生会
	誕生会		読書会
	沖縄芝居鑑賞		園庭散歩

- ※ 毎月第2週目をデイ環境美化週間とする
- ※ 第1週を通して体重測定を行う
- ※ 毎月 デイ会議を行う

令和4年度 研修計画

通所介護事業所 与勝の里

施設内研修

名称	開催時	内容
施設内介護実践発表会	年1回	各事業所の事例発表研修
季刊誌での勉強会	随時	おはよう21・ふれあいケアを参考

会議計画

会議名	開催月	内容
職務会	2ヶ月毎	各事業所との報告会
各委員会会議	毎月	各委員会の活動計画
デイ会議	毎月	利用者の情報交換・業務に関する事、および研修の報告。
サービス担当者会議及びケア会議	随時	サービス開始や変更時等、サービス調整会議。会議録をもとに通所介護計画書の作成。

施設外研修

研修内容	対象者
九社連老協職員研修	職員
高齢者虐待防止研修	職員
身体拘束廃止への取り組みに関する研修	職員
衛生(感染症も含む)・安全管理に関する研修	職員
通所介護生活相談員連絡会議(年4回)	相談員
機能訓練実践研修会	機能訓練指導員、看護師
沖縄県老人福祉施設職員研究大会	職員
認知症介護実践者研修	職員
介護保険施設等集団指導	管理者

令和4年度

事業計画書(案)

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月 31日

グループホーム やすらぎの家

(別紙)

## 令和4年度事業計画

グループホームやすらぎの家

### 1. 基本方針

要支援、要介護状態で認知症の高齢者が、家庭的な雰囲気の中で安心感を得て、認知症の進行の緩和を目指し、一緒に楽しみながら、利用者の状態、ペースに合わせた支援を行います。また、個人の出来る事を尊重し、その能力を日常生活に生かせるように、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。

### 2. 重点目標

- (1) 常に変化する利用者の状態に対応できるよう、利用者の話に耳を傾け、利用者のニーズに合わせた個別支援に取り組んでいきます。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策に全職員が心掛けて施設内感染を防ぎます。
- (3) 施設の行事に家族や地域の方を招待したり、地域の行事にも参加し、施設見学者や地域ボランティア・実習生を受け入れて、地域に馴染んだ関係を築いていきます。
- (4) 全職員が利用者を受け持ち、利用者の心身の状態を受け入れ、その人らしい生活の把握に努めます。

### 3. 事業内容

- (1) 施設介護サービス計画書と通所介護サービス計画書の作成  
利用者の心身の状況や環境など生活背景を適切に捉え、自立支援に向け、利用者及び家族と相談して、介護サービス計画書を作成して、その計画に沿った支援を行います。
- (2) 健康状態の維持と体調管理
  - ① 心身ともに穏やかな生活が送れるように、本人の健康状態を常に把握して、身体機能の維持向上を図るため、日常生活の機能訓練を行います。
  - ② 新型コロナウイルス感染防止対策については、毎朝の居室、共同ホール等施設内の換気・消毒を行い、利用者の手洗い・口腔ケアの周知徹底を行うと共に利用者の皆さんがストレスを溜めず室内でも楽しく過ごせるように支援して行きます。また、職員は手洗い、アルコールによる手指の消毒、マスク着用、検温等に心掛け、施設内感染を防ぐように努めます。

### (3) 医療連携

- ① 利用者の加齢に伴う身体機能の低下や日常の生活動作の低下を予測し、医療機関や担当医と密に連絡を取り、病気の早期発見と早期受診に繋がります。
- ② 定期受診時には家族やかかりつけ医へ書面で情報を提供します。
- ③ 利用者が重度化した場合のケアについては、かかりつけ医と連携して、充実した介護を行います。

### (4) 食事、入浴の提供

- ① 利用者の生活習慣病を常に気にかけて、食事形態や嗜好に合わせた献立作成・栄養摂取量・盛り付けなどを工夫して、みんなに喜ばれる食事の提供に努めます。
- ② 入浴は健康状態を良く把握して、事故のないよう細心の注意を払いながら介助をします。

### (5) 安全対策

- ① 防災訓練を年2回実施し、非常事態時にも、適切な対応ができるようにします。
- ② 事故予防に対して、気付いたことは報告・連絡・相談をして、職員の危機管理意識を高めます。
- ③ 施設内の環境整備を行うとともに、常に安全を確認して事故防止に努めます。

### (6) 個別支援活動

利用者や家族の要望を聴き、一人一人の身体機能やニーズに合わせて、ドライブや個別支援活動を充実させて行きます。

### (7) 家族との連携

- ① 日々の生活状況を家族面会時に報告し、家族との信頼関係を築きます。
- ② 家族を施設行事にご案内して交流を持ち、認知症介護についても意見等を伺い、家族と職員が共有できる機会を持ちます。

### (8) 地域交流と連携

- ① 地域行事に出来るだけ参加して、生まれ育った地域の区民との交流に関わって行きます。
- ② 運営推進会議を2ヶ月毎に開催して、事業所の活動状況を報告して、評価・要望・助言等を受け、地域に開かれた事業所にして行きます。

(9) 身体拘束廃止委員

運営推進委員会のメンバーで身体拘束廃止委員会を兼務してもらい、運営推進会議後に身体拘束廃止委員会の会議を開催して、身体拘束の状況を説明して指導・助言を受けて、身体拘束ゼロを目指します。

(10) 法人内事業所との連携

利用者の作品の展示を認知症カフェとして開催し、法人の利用者を招待して、互いに励まし合う交流の機会を設けます。

(11) 環境整備と美化

- ① 居室や共同ホールは季節毎に模様替えを行います。入居者の衣替えは家族、担当職員で一緒に行います。
- ② 園庭は季節の花や野菜を育て楽しみ、実りのある庭作りに行きます。

(12) 職員の資質向上

専門性を高める為に、施設内、県内外の各種研修会へ積極的に参して、介護技術の向上に努めます。

令和4年度 行事計画

月	内容		内容
4月	ドライブピクニック（浜下り） ドライブ・手工芸・オヤツ作り	10月	認知症カフェ ドライブ・手工芸・オヤツ作り
5月	認知症カフェ ドライブ・手工芸・オヤツ作り	11月	ピクニック（ミニ運動会） ドライブ・手工芸・オヤツ作り
6月	ハーリー観戦 ドライブ・手工芸・オヤツ作り	12月	クリスマス会 ドライブ・手工芸・オヤツ作り
7月	避難訓練 ドライブ・手工芸・オヤツ作り	1月	年賀式 初詣 ムービー作り 新年会&発表会 ドライブ・手工芸・オヤツ作り
8月	与勝の里まつり ドライブ・手工芸・オヤツ作り	2月	ドライブピクニック 節分・手工芸・オヤツ作り
9月	敬老会 ドライブ・手工芸・オヤツ作り	3月	避難訓練 ドライブ・手工芸・オヤツ作り

### 令和4年度 会議計画

会議名	開催日時	内容	構成メンバー
定例会議	毎月1回 20時～21時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のケアについて</li> <li>・業務改善について</li> <li>・身体拘束廃止について（奇数月）</li> <li>・虐待について（偶数月）</li> </ul>	全職員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議</li> <li>・身体拘束廃止委員会</li> </ul>	年6回（偶数月） 14時～15時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携を図ることを目的に開催</li> <li>・身体拘束廃止について</li> </ul>	利用者代表・利用者家族 地域自治会長・行政職員 知見者・地域包括支援センターかつれん職員 施設代表・管理者・介護職員

### 令和4年度 研修計画

月	研修内容	月	研修内容
4月	・県グループホーム計画作成担当者研修会	10月	・県グループホーム研究大会
5月	・県グループホーム介護者研修会	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県グループホーム介護者研修会</li> <li>・うるま市介護保険関係者交流会</li> <li>・沖縄県老人福祉施設大会</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県グループホーム計画作成担当者研修会</li> <li>・県グループホーム管理者会</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県グループホーム計画作成担当者研修会</li> <li>・県グループホーム管理者会</li> </ul>
7月		1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県介護支援専門員研究大会</li> <li>・認知症実践者研修</li> <li>・身体拘束廃止研修</li> </ul>
8月	・県グループホーム介護者研修会	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県グループホーム介護者研修会</li> <li>・施設内介護実践発表会</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練</li> <li>・高齢者虐待防止法研修会</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練</li> <li>・県グループホーム管理者会</li> </ul>

令和4年度

事業計画書(案)

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月 31日

訪問介護事業所 与勝の里



# 令和4年度事業計画（案）

## 訪問介護事業所 与勝の里

### 1. 基本方針

要介護・要支援状態及び事業対象者の認定を受けた利用者に対して、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じた日常生活を営む事ができるように、ケアプランを基に入浴、排泄、食事の介助等、その他生活全般の援助を行います。また、軽度生活援助事業や障害福祉サービスの依頼があった際には、関係機関と綿密な連携を図り、総合的かつ公正中立なサービス提供に努めます。

### 2. 重点目標

- (1) 特定事業所加算算定の継続の為、居宅サービス計画書を基に、個別に作成した訪問介護・訪問介護予防計画書に基づいてサービスを提供します。  
また、毎月一回事業所会議を開催して、常に訪問介護員間の情報伝達及び報告体制を整えると共に、訪問介護員の技術向上を目指して、研修計画を策定して、当該計画に従い研修を実施します。
- (2) 高齢者等を支援する専門職として、新型コロナウイルス等の感染症予防対策に努めます。
- (3) うるま市高齢者福祉サービスの軽度生活援助事業や障害福祉サービスの居宅介護、重度訪問介護の依頼を受けた際には、サービスの調整に努めます。

### 3. 事業内容

- (1) 特定事業所加算の算定と職員のスキルアップ
  - ① サービス提供責任者が居宅サービス計画・介護予防サービス支援計画に沿って訪問介護・訪問介護予防計画書を策定します。
  - ② 利用者の状況を把握し及び課題分析に基づき、援助の方向性や自立支援を踏まえ目標を明確にして、当該目標を達成する為の具体的なサービス内容等を記載します。
  - ③ 身体の状態及びその他生活環境に応じて、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、並びに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助を適切に行います。

- ④ 訪問介護事業所の定例会の際、知識や技術向上の為の勉強会を実施します。また、施設内外の研修へも積極的に参加します。
- ⑤ 訪問介護員が感染症対策の基本的知識と感染者発生時の対応方法や消毒方法等を習得し、感染症対策の徹底と健康状態の確認を行ないます。

(2) 感染症予防対策の取り組み

- ① 職員は出勤時に検温して業務にあたり、日頃から感染症予防・体調管理に留意します。
- ② 業務中はマスク着用・手洗い・アルコールによる手指消毒等を徹底します。
- ③ サービス提供時は利用者の健康状態の把握に努め、発熱等がみられる際には家族や関係機関と連携を図ります。

(3) 訪問介護実績増に向けての取り組み

- ① 登録利用者70名を目標に、地域の居宅介護支援事業所へ積極的に情報提供を行ないます。
- ② 安定したサービス提供の実施に向けて、登録ヘルパーの確保に努めます。
- ③ うるま市高齢者福祉サービスの軽度生活援助事業を、継続して契約を行い、サービスの依頼がある際には、訪問介護員を派遣して日常生活の援助を行います。
- ④ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づく障害福祉サービスの、居宅介護及び重度訪問介護サービスの依頼を受けた際には、サービスの調整に努めます。

## 令和4年度 会議計画

会議名	開催月	会議内容
事業所定例会議	毎月1回 第3水曜日	利用者に係る留意事項・情報共有及び業務改善
サービス担当者会議及びケア会議	随時	サービス開始や変更時等サービス調整会議 利用者や家族状況を踏まえ業務の見直し等

## 令和4年度 研修計画

### 施設内研修

研修名	開催月	研修内容
事業所内勉強会	1か月1回 定例会議終了後	技術指導を目的とした会議 介護技術指導、感染対策、認知症ケアについて等
施設内介護実践発表会	毎年2月	各事業所の介護実践の成果を発表し、今後の介護現場に生かす

### 施設外研修

研修名	開催月	研修内容
中部地区訪問介護事業所連絡会	3ヶ月に1回	各事業所情報の共有、訪問介護連絡会主催の講演会及び勉強会等へ参加する
感染防止対策に関する研修会	随時	感染症や食中毒等の予防対策を学ぶ
救急救命講習会	9月	急変時の対応を取得する
認知症介護基礎研修	10月	認知症の基礎的な知識・技術を習得する
沖縄県老人福祉施設職員研究大会	11月	研究成果の発表内容を共有する
虐待防止研修会	11月	虐待防止に向けて担うべき役割を改めて考える
テーマ別技術向上研修	2月	訪問介護員としての必要な知識を習得する

令和4年度

# 事業計画書(案)

自：令和4年 4月 1日

至：令和5年 3月31日

居宅介護支援事業所 与勝の里

# 令和4年度事業計画（案）

居宅介護支援事業所 与勝の里

## 1 基本方針

介護保険法等の主旨に沿って、利用者の意思及び人格を尊重し、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるように、居宅介護支援の相談に応じ、総合事業対象者、要支援者、要介護者の身体、精神状態の維持、改善を目標に、居宅介護サービス計画、介護予防サービス計画を作成して、適正なサービスを提供します。また、関係市町村、地域の医療・保健・福祉サービス機関と連携を図り、総合的、かつ公正中立なサービスの提供に努めます。

## 2 重点目標

- (1) 特定事業所加算Ⅱ（主任介護支援専門員4名）算定事業所として、質の高いケアマネジメントを実施します。
- (2) 支援困難事例等の対応については、各地域包括支援センターと連携を図りながらサービスの提供に努めます。
- (3) 要支援者や中重度の要介護者、認知症高齢者等への地域包括ケアシステムにそったサービスの提供に努めます。
- (4) 医療機関との情報提供や特定事業所加算算定事業所と情報交換や事例検討等で連携を深めていきます。
- (5) 介護支援専門員1人あたり、35名以上39名以内とし、居宅介護支援に努めます。

## 3 事業内容

- (1) 利用者、家族より相談を受けて、身体の状態や意向等を確認した後に、居宅サービス計画を作成して、関係機関を交えたサービス担当者会議を開催します。また、サービス計画の実施状況を、毎月の自宅訪問において確認、評価を行って、新たなニーズを確認した時は、改めて居宅サー

ビス計画を作成します。

- (2) 居宅サービス計画実施後の給付管理業務を行います。
- (3) 要介護認定申請に対する協力・援助を行います。
- (4) 当事業所内で情報の共有・知識の向上を図る為、週一回以上居宅介護支援事業所会議を開催します。
- (5) 居宅介護支援を必要とする利用者及び家族からの相談に対しては、24時間常時連絡調整できる体制を整備します。
- (6) 当法人にはうるま市地域包括支援センターかつれんを併設しており、支援困難ケースや緊急対応ケース等については、主任介護支援専門員を中心に常時対応していきます。
- (7) 職員の知識の向上の為、他居宅介護支援事業所との共同の事例検討会、研究会等を実施します。また、地域包括支援センター等が実施する事例検討会等へ参加します。
- (8) 医療・保健・福祉の専門性向上に努め、各種研修等へ参加します。
- (9) 管理者、主任介護支援専門員は支援困難ケースを率先して対応し、スーパーバイザーとしての役割を担って行きます。
- (10) うるま市地域包括支援センター（7事業所）より、地域ケア会議ケースの開催依頼があった時には、積極的に取り組み、個々のケースを第三者にも明瞭、明確に説明できるように、ケアマネジメント能力を身につけます。
- (11) 独居世帯、高齢者世帯、家族介護支援困難ケースは適切に入所施設等へつなげ、住み慣れた地域で生活できるように支援していきます。
- (12) 当居宅介護支援事業所は、介護支援専門員実務者研修施設として登録しています。研修施設として今後も研鑽しながら支援していきます。

## 令和4年度 研修計画

居宅介護支援事業所 与勝の里

### 事業所内研修

研修名	開催月	内容
集中減算、加算等について	4月	令和3年後期集中減算、新年度加算等確認
包括との連携について	5月	包括かつれんとの情報共有について
リモートでの会議について	6月	リモートでの会議の方法等について
災害時の対応について	7月	台風・地震等の対応について
虐待、困難事例について	8月	虐待、困難事例検討会・対応について
インフォーマルなサービスについて	9月	市内外の事業所等の情報共有について
支援経過、計画書作成について	10月	支援経過、計画書の点検について
成年後見人制度について	11月	権利擁護・成年後見人制度について
感染症対策について	12月	感染症に対する対応、各事業所への連絡等
ケアプラン勉強会・自己評価	1月	プラン作成や支援経過について
困難事例について	2月	困難事例検討会・対応について
接遇について	3月	電話・来所時の対応について

### 県内及びうるま市介護支援専門員研修

研修名	開催月	内容
介護支援専門員協会うるま支部幹事会	偶数月	うるま支部幹事会（各事業所管理者）
介護支援専門員協会うるま支部連絡会	奇数月	うるま支部連絡会（総会・勉強会・交流会等）
沖縄県介護支援専門員協会総会	6月	沖縄県介護支援専門員協会総会
介護支援専門員専門Ⅱ研修	7月	介護支援専門員更新研修
特定事業所事例検討会	9月	近隣特定事業所合同事例検討会
主任介護専門員研修	10月	主任介護支援専門員研修
うるま市介護施設等交流会	11月	うるま市内事業所交流会
沖縄県老人福祉施設研究大会	11月	沖縄県老人福祉施設研究大会
主任介護支援専門員フォローアップ研修	12月	主任介護支援専門員研修
沖縄県介護支援専門員研究大会	2月	沖縄県介護支援専門員研究大会

令和4年度

事業計画書(案)

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月 31日

うるま市地域包括支援センターかつれん



## 令和4年度事業計画

うるま市地域包括支援センター かつれん

### 1. 基本方針

地域包括支援センターは介護保険法及び関係法令の定めるところによる地域住民の健康保持及び生活安定に必要な援助を行うことにより、地域で暮らす高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に行います。保健師等・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種に加え認知症地域支援推進員を配置し、4職種が連携して包括的支援事業を実施することにより、高齢者等の心身の状況やその置かれている環境等に応じて、介護給付等サービス、保健医療サービス及び福祉サービス、インフォーマルサービス、認知症支援・権利擁護のため必要な援助等が利用できるような支援を行い、可能な限り住み慣れた地域において、自立した日常生活を営む事ができる事を目指す「地域包括ケアシステムの構築」に行政と共に取り組んでいきます。

又、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの対象となる要支援者及び総合事業対象者が介護予防サービス等を適切に利用できるようなケアマネジメント業務を行う指定介護予防支援等の事業を実施します。

### 2. 重点目標

- (1) 各行政区における独居高齢者や高齢者世帯の生活環境や実態の把握に努めるとともに自治会や民生委員、協力者等と情報共有を行い、有事に連携が図れるような関係性の構築に取り組めます。
- (2) 地域の高齢者が新型コロナウイルス感染症予防の実施を行いながら、地域活動が再開できる環境について、自治会や民生委員、地域の関係機関と連携しながら、高齢者の心身の健康が維持できるよう支援体制作りを行ってきます。
- (3) 地域住民が認知症に関する正しい理解や知識、対応方法などがスムーズに得られるよう相談窓口の周知や認知症カフェを通じ、認知症高齢者やその家族が安心して地域で暮らせるよう支援していきます。
- (4) 地域の介護支援専門員が受け持つ困難事例の支援を行うとともに地域の介護支援専門員が抱える困りごとについて助言や提案、必要な際には地域ケア会議等の開催を行い課題解決ができるようサポートしていきます。自事業所においてはIT機器を活用した会議や研修に、積極的に参加できる体制を整えていきます。
- (5) 地域住民に高齢者虐待、権利擁護、消費者被害について自治会や関係機関へのパンフレットの配布など周知活動を行うとともに、高齢者虐待においては速やかに対応

して再発防止に努めていきます。

- (6) 新型コロナウイルス感染症や自然災害等による有事に備え、各地域の現状と支援者等を把握し資源マップや避難行動要支援者名簿、BCPの作成に取り組みます。
- (7) 地域で生活する複合世帯やヤングケアラー問題など高齢者支援にとどまらず重層的支援体制の構築に各関係機関と連携し取り組んでいきます。

### 3. 地域包括支援センターの事業内容

#### (1) 包括的支援事業

※地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する事を目的として

- ①総合相談支援業務
- ②権利擁護業務
- ③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- ④第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

※地域包括ケアシステムの構築に向け、各関係機関・関係者等との連携強化を図る目的

- (2) 在宅医療・介護連携事業
- (3) 生活支援体制整備事業
- (4) 認知症総合支援事業
- (5) 地域ケア会議推進事業
- (6) 一般介護予防事業における介護予防把握事業
- (7) 多職種連携による地域包括支援ネットワークの構築事業
- (8) 指定介護予防支援事業

【研修会】

日 程	内 容
4 月	地域包括支援センターの役割について研修会
5 月	在宅医療介護連携推進会議事業：研修会
6 月	災害時マネジメント研修
7 月	他職種連携についての研修・事業所内での勉強会
8 月	高齢者の犯罪者生活移行支援セミナー
9 月	虐待・権利擁護研修
10 月	うるま市ケアマネジメント活動支援事業研修
11 月	うるま支部介護支援専門員交流会
12 月	高齢者権利擁護研修 認知症研修
1 月	多職種コンソーシアム実践研修 継続的、包括的ケアマネジメント実践研修
2 月	医療介護連携推進事業：研修会（感染予防、看取り等）
3 月	うるま市虐待ネットワーク会議・ 消費者被害予防セミナー

【実習生受け入れ】

日 程	内 容
6 月	中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校
7 月	中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校
8 月	社会福祉援助技術現場実習：沖縄国際大学（うるま市支援係依頼）
9 月	中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校

【会議及び定例会】

第 4 月曜日	うるま市地域包括支援センター定例会
第 2 水曜日	認知症初期集中支援チームケア会議
第 2 金曜日	主任介護支援専門員定例会
第 3 木曜日	認知症地域支援推進委員定例会
第 3 火曜日	社会福祉士定例会
第 4 金曜日	保健師・看護師定例会
月 1 回	センター長会議
偶数月（年 6 回）	うるま市在宅医療介護連携推進会議
年 2 回	うるま市地域包括支援センター運営協議会
毎週火曜日・随時	4 職種情報共有 事例検討会議
第 3 火曜日	包括内全体会議：情報雄共有、利用者状況報告

令和4年度

事業計画書(案)

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月31日

地域支援ホーム 津堅いこいの家

## 令和4年度事業計画（案）

### 地域支援ホーム津堅いこいの家

小規模多機能型居宅介護  
認知症対応型共同生活介護  
認知症対応型通所介護

#### 1. 基本方針

利用者の心身の状況等に応じて、小規模多機能型居宅介護では通い利用を中心として、要介護者、要介護予防者の様態や希望により、訪問（安否確認）や泊りを組み合わせたサービスを提供することで、利用者の在宅生活の継続を支援するように努めます。また、地域包括支援センター、津堅診療所と綿密な連携を図り、総合的サービスの提供に努めます。

認知症対応型共同生活介護、認知症対応型通所介護では、ケアプランに基づき、介護の相談及び援助、機能訓練、健康管理を行い、利用者がその有する能力に応じて、自立した日常生活が送れるように、安心・安全・快適な支援に努めます。

#### 2. 重点目標

- (1) 利用者の重度化に伴い、医療と連携し日々の健康に留意しながら、最後まで島で過ごせるように支援します。  
コロナ禍で、地域や学校行事は中止や制限があり参加は難しいですが、季節ごとのイベントや利用者同士で楽しめる機会を設けていきたいと思えます。また、面会制限によりご家族と会えない時は、手紙や電話にて状況報告を行い、ご家族の不安も解消します。
- (2) 一人一人の多様な在宅生活に向けて、小規模多機能の特徴を活かし、柔軟なサービスを提供します。コロナ禍であっても、利用者や地域課題に対して出来ることを考え取り組みます。
- (3) 感染症対策の指針に基づき、定期的に施設内勉強会を行うと共に、日常生活における手洗いやうがい、消毒、定時の換気などの対策を徹底します。利用者の水分補給、及び免疫力が低下しないように取り組みます。
- (4) 外部研修やリモート研修へ積極的に参加し、知識・質の向上に努めます。働きやすい職場づくりで、人材定着を図ります。

### 3. 事業内容

#### (1) ケアプランに添った個別援助計画の作成

- ① ケース会議では、事例検討を通して、連携がより密に行えるように取り組みます。
- ② 利用者やご家族の意向、要望をケアプランに反映した支援が提供できるようにします。
- ③ ご家族との連絡、報告、相談を密にして、生活上の問題点が解決できるように支援します。

#### (2) 地域の関係機関との連携

- ① 施設行事への地域住民の参加や学校・地域行事への、利用者、職員を積極的に参加させるなど、活動の場を提供すると共に、福祉に関心が持てるようにします。
- ② 施設見学、ボランティアや実習生の受け入れを行い、地域と積極的な交流を図ります。
- ③ 運営推進会議を定期的で開催し、事業所運営やサービス内容を報告し、外部の方々から意見をいただき、サービスの質の向上や、事業所運営に反映できるように取り組みます。

#### (3) 医療機関と連携し健康維持管理

- ① 利用者が心身共に健康で、充実した日常生活が送れるように、個別のケアプランに基づき、個々の状態の変化に応じた、健康管理に努めます。
- ② レクリエーションを通じて、身体を動かすことをリハビリのひとつとして捉え、楽しくレク活動ができる雰囲気作りに努めます。
- ③ 環境の整備や消毒、手洗い、うがいを徹底して、感染症の予防に努めます。
- ④ 口腔ケアは利用者の健康増進、維持に大切であり、常に口腔内の清潔に努めます。
- ⑤ 住み慣れた島で、なじみの方々と最後まで過ごしたいとの利用者の要望もあり、看取りケアに向けて、家族や医療機関との連携を深めます。

#### (4) 危機管理

- ① 災害時に備え年 2 回の防災訓練（避難・通報・消火）を実施し、防災に対する意識を高め、地域の方や消防団の協力のもとに安全、迅速に災害に対処できるようにします。

- ② 転倒や誤薬等がないように、ヒヤリハット等の事例検討会を随時行い、事故防止の意識向上に努めます。
- ③ ご家族や利用者からの、苦情や相談については、解決に向けて対応し、日頃からのコミュニケーションを通して、より良い関係作りに努めます。
- ④ 利用者が安心した生活が出来るように、危機管理マニュアルに添った統一した支援に努めます。
- ⑤ 備蓄食料や燃料の、定期的な確認と補充を行い、災害時に備えます。

(5) 職員の資質向上の取り組み及び研修計画

- ① 職員が仕事を振り返り、且つ、情報の共有に努めます。
- ② 職員一人一人の目標を明確にして、資格の習得に取り組みます。

年 間 行 事 予 定

日 程	行 事 名	内 容
4月	浜下り 入学式	島内のビーチをドライブ 中学校新一年生の入学を祝う
5月	子供達との交流 母の日	小学生と交流しながら楽しく過ごす 手作りのプレゼントを贈ります
6月	ハーリー見学 父の日	島のハーリーを見学と応援 手作りのプレゼントを贈ります
7月	ドライブ 七夕	気分転換に島内をドライブ 短冊に願いを書き、笹の葉に吊るす
8月	方言教室	子供会活動の一環として、方言教室やわらべ歌を教えながら交流
9月	敬老会 避難訓練	利用者の皆さんに敬意を表して、健康を祝う 災害を想定して、訓練を行い被災防止に備える
10月	読み聞かせ 運動会	子供達との交流を図る 小中学校の運動会へ参加し、地域住民との交流
11月	島クサラー 合同避難訓練	区の行事へ参加して、無病息災を祈願する 津波、地震を想定した、市の合同訓練へ参加



12月	忘年会 マータンコー	1年間元気に過ごせたこと、まわりの方々に支えられたことに心から感謝 区の行事、島の男踊りを見学
1月	年賀式 持久走応援 初ウクシー	年初めにお屠蘇を頂き、健康を祈願 子供達の持久走大会の応援 初ウクシーへ出かけ一年の健康祈願
2月	節分 避難訓練	豆まきをして、季節感を味わう 夜間想定して、訓練を行い拡大防止に備える
3月	ひなまつり 卒業式	ひな人形を飾り、季節感を味わう 小中学校の卒業生を激励

会 議

名 称	開 催 予 定	内 容
職務会	毎月	各担当より現状報告 業務改善 月間、年間行事の周知
担当者会議 ケア検討会議	随時	ケアプランの作成・立案 実施・評価
各委員会会議	毎月	毎月の活動の立案・実施評価
身体拘束廃止・事故対策 会議	3か月に1回	ヒアリハット・事故記録の見直しと今後の対策について
防災対策会議	年2回	危機管理についてのマニュアルの見直しと防災訓練
運営推進会議	年6回(奇数月) 13:00~14:00	地域との連携を図ることを 目的に開催
高齢者虐待防止について	3か月に1回	虐待防止や早期発見等の支援 体制の取り組み
感染症対策会議	随時	感染症対策及び蔓延防止対策 に向けての話し合い

現任及び新任の全職員対象研修

① 認知症及び認知症ケアに関する研修
② 接遇に関する研修
③ プライバシー保護の取り組みに関する研修
④ 高齢者虐待防止、身体拘束廃止に関する研修
⑤ 事故発生予防・再発防止等、安全対策に関する研修
⑥ 緊急時対応に関する研修
⑦ 非常災害時の対応に関する研修
⑧ 感染症、食中毒の発生予防及び蔓延予防に関する研修
⑨ 介護力向上に関する研修（実践を通して検討する）

外部研修

研修内容	対象者
認知症介護実践者研修	職員
認知症介護実践リーダー研修	職員
各事業所連絡会	管理者 介護支援専門員 職員
職種別外部研修	管理者 介護支援専門員 職員

令和4年度

事業計画書(案)

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月31日

キャロット・ふれあいサロン

## 令和4年度事業計画（案）

### キャロット・ふれあいサロン

#### 1. 基本方針

津堅島に住む概ね65歳以上の高齢者が、社会的孤立感の解消、自立生活の助長を図り、生きがいを促進する。活動的に暮らすことで「生きがい」や「喜び」「安らぎ」「楽しみ」「仲間づくり」「健康づくり」等、健康の保持増進、地域交流の輪を広げ、多世代交流の活性化を進め、住み慣れた地域で高齢者がいつまでも安心して、暮らせるように支援します。

#### 2. 重点目標

- (1) 地域の高齢者が、安心した生活が送れるように、身体機能の維持・向上を図り、後期高齢者の居場所作りに努めます。
- (2) 認知症予防を啓発し、早期発見、医療につなげ、住民同士が支え合える地域づくりの促進に努めます。
- (3) 専門職による機能訓練や生活習慣の指導を前期高齢者に行い、住み慣れた地域で、生き活きと過ごしていけるように支援します。  
また、地域包括支援センターや診療所と情報を共有し、介護保険やサービス利用に関しての相談や手続きを行います。
- (4) 感染症対策の指針に基づき、日常生活における手洗いやうがい、消毒、定時の換気などの対策を徹底します。

#### 3. 事業内容

- (1) 地域の関係機関との連携  
地域行事や学校行事などへの参加も積極的に行い、世代間の交流を図ります。
- (2) 医療機関と連携し健康維持管理
  - ①健康チェックを行い、状態に変化が生じた場合は、医療機関と連携し、適切な対応を行います。
  - ②レクリエーションや、身体を動かす事で、筋力の向上として捉え、健康の維持管理に努めます。
- (3) 感染症対策  
感染症予防に努め、環境整備や消毒、手洗い・うがいを徹底します。
- (4) 個人情報保護  
個人情報の利用目的を特定し、適正に取り扱います。

(5) 災害時の危機管理

災害時に備え、うるま市が実施する防災訓練（避難訓練）に参加し、災害に対する意識を高め、地域の方や消防団の協力のもとに安全、迅速に災害に対処できるようにします。

年 間 行 事 予 定

日 程	行 事 名	内 容
4月	浜下り 学校行事へ参加	アギ浜までドライブ 中学校新一年生の入学を祝う
5月	こいのぼり集会 母の日	地域の子供たちと交流 母の日会を行う
6月	ハーリー見学 父の日	島のハーリーを見学と応援 父の日会を行う
8月	方言教室	子供会活動の一環として、方言教室やわらべ歌を教えながら交流
9月	敬老会	利用者の益々の健康を祝う 地域の敬老会へ参加し交流
10月	学校行事へ参加	小中学校の運動会へ参加
11月	ピクニック	気分転換に本島へ出かけ、近隣の事業所と交流する
12月	忘年会	1年間元気に過ごせたこと、まわりの方々に支えられたことに心から感謝
1月	年賀式 持久走応援	年初めにお屠蘇を頂き、健康を祈願 子供達の持久走大会の応援
2月	節 分 作品展示会	豆まきをして、季節感を味わう 取り組んできた作品の展示会を行う
3月	ひなまつり 学校行事へ参加	ひな人形を飾り、季節感を味わう 小中学校の卒業式へ参加

令和4年度

事業計画書(案)

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月 31日

デイサービスセンター かつれん

# 令和4年度事業計画(案)

デイサービスセンターかつれん

## 1. 基本方針

介護保険法の主旨に従って、利用者が要介護状態となった場合においても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるように、生活機能の維持向上を目指して、日常生活に必要な機能訓練を行います。また、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持により、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに努めます。

## 2. 重点目標

- (1) 利用者が、安心できるサービスを提供できるよう努めます。
- (2) 可能な限り自立した生活を送ることが出来るように「自立支援」を基本とし、通所介護計画及び個別機能訓練計画に基づいた機能訓練を行い、利用者の個別援助に努めます。
- (3) 地域とのつながりを大事にして、地域に根ざした施設づくりを目指すと共に、外出機会の少ない利用者に地域に出掛ける機会を与えて、地域住民との交流を深めます。
- (4) 新型コロナウイルス等の感染症予防対策に努めます。

## 3. 事業内容

### (1) ケアプランに添った通所介護計画の作成

介護支援専門員が作成した居宅サービス計画に基づき、利用者やご家族の意向及び要望を反映した通所介護計画を作成すると共に、機能訓練が必要な方については、個別機能訓練計画を作成して、サービス提供を行います。

### (2) 健康管理

利用者の身体的、精神的状況の把握に努め、変化が生じた場合は家族、介護支援専門員又は医療機関等と連携して、適切に対応します。

### (3) 感染症対策

新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染流行期には、感染予防対策会議を開催し、施設内感染を防ぐように努めます。

### (4) 危機管理（リスクマネジメント）

- ① 見守りを充分に行い事故の発生防止に努めます。
- ② 施設内外の環境整備に努めます。
- ③ 個人情報の管理に努めます。

(5) 地域との交流

地域に根ざした施設作りを目指して、地域の保育園・小・中・高校生の他、地域のボランティア等を受入れると共に、地域行事へ積極的に参加して、地域との交流を深めます。

(6) 実習生の受け入れ

将来福祉の現場を担うであろう実習生及び、小・中・高校生の職場体験学習を受け入れます。

(7) 防災・災害対策

- ① 年2回の防災訓練（6月・12月）を実施して、防災意識の高揚に努めます。
- ② 消火器具の取り扱いを徹底して、消火設備の点検を定期的実施します。
- ③ 防災・災害時において安全かつ迅速に対処できるようにします。

(8) 職員の資質向上について

職員の専門性を高める為、施設内及び県内外の各種研修会等に積極的に参加するように努めます。

行事計画

月	日	内 容	月	日	内 容
4月	1	手工芸	10月	3	手工芸
	15	おやつ作り		7	おやつ作り
	18	ミニドライブ・ショッピング等		21	第7回ミニ運動会
	28	誕生会		24	ミニドライブ・ショッピング等
	※	園芸活動		28	誕生会
5月	2	手工芸	11月	1	手工芸
	9	母の日ミニコンサート		8	おやつ作り
	18	おやつ作り		14	ミニドライブ・ショッピング等
	23	ミニドライブ・ショッピング等		16	誕生会
	24	誕生会		※	防災訓練
6月	1	手工芸	12月	1	手工芸
	8	おやつ作り		5	ミニドライブ・ショッピング等
	10	ウォーキング（近隣散歩）		16	誕生会
	13	ミニドライブ・ショッピング等		23	クリスマス&年忘れ会
	20	父の日ミニコンサート		30	おやつ作り（ムービー作り）
	24	誕生会		※	園芸活動
	※	消火避難訓練		※	消火避難訓練
7月	4	手工芸（七夕短冊作り）	1月	4	年賀式
	7	おやつ作り		9	手工芸
	11	ミニドライブ・ショッピング等		13	おやつ作り



7月	21	誕生会	1月	16	ミニドライブ・ショッピング等
	29	ウォーキング（近隣散歩）		27	誕生会
	※	園芸活動		※	園芸活動
8月	1	手工芸	2月	1	手工芸
	10	おやつ作り		3	節分（豆まき）
	15	ミニドライブ・ショッピング等		13	初詣（泡瀬ビジュアル）
	26	誕生会		23	誕生会
	※	園芸活動		※	園芸活動
9月	1	手工芸	3月	1	手工芸
	5	おやつ作り		8	おやつ作り
	12	ミニドライブ・ショッピング等		13	ミニドライブ・ショッピング等
	21	誕生会		29	誕生会
	※	園芸活動		※	園芸活動

### 研修計画

#### （施設内研修）

名 称	開 催 時	内 容
職務会	2カ月毎	各事業所報告
施設内事例発表会	年1回2月	各事業所の事例発表
施設内研修	2カ月毎	委員会企画による研修
研修会	毎 月	研修報告・ヒヤリハット等事例検討

#### （施設外研修）

研 修 内 容	対 象 者
全国・九州老人福祉施設研究大会	管理者・相談員・介護職員等
沖縄県老人福祉施設職員研修	管理者・相談員・介護職員等
権利擁護研修	管理者・相談員・介護職員等
リスクマネジメント研修	管理者・相談員・介護職員等
認知症介護実践者研修	管理者・相談員・介護職員等
感染症予防対策研修	管理者・相談員・介護職員等

令和4年度

# 事業計画書(案)

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月 31日

サービス付高齢者向け住宅かつれん

## 1. 基本方針

社会福祉法人 与勝福社会の経営理念に基づいて、利用者の人格・人間性を尊重し、家庭的な雰囲気の中で、入居者が安心して生活が送れるように支援します。

## 2. 重点目標

- (1) 入居者が安心かつ安全な生活が送れるように支援します。
- (2) 他職種及び、関係機関と連携して、入居者の生活を支援します。
- (3) 個々のプライバシーの確保、入居者同士のコミュニケーションを築くと共に、楽しく生活できるような住宅環境を目指します。
- (4) 入居者の地域行事等への参加を支援します。
- (5) 新型コロナウイルス等の感染防止対策に努めます。

## 3. 事業内容

- (1) 入居者の尊厳と自立支援を念頭に、日常生活の支援を行います。
- (2) 入居者が楽しく生活出来るようなサービスを提供します。
- (3) 入居者の生活相談・状況把握サービスを提供します。
- (4) 食事は管理栄養士の管理のもと、入居者の体調を考慮して提供します。
- (5) 主治医・介護支援専門員等、関係者等との連携を図り支援します。
- (6) 防災・災害対策について次の通り実施します。
  - ① 年2回の防災訓練（6月・12月）を実施して、防災意識の高揚に努めます。
  - ② 消火器具の取り扱いを徹底し、消火設備の点検を定期的実施します。
  - ③ 自衛消防団により安全かつ迅速に対処できるようにします。
- (7) 地域との交流を深め、地域とのつながりを大切にしていきます。
  - ① 平敷屋ハーリーの応援
  - ② 沖縄マラソン応援
  - ③ 地域で活動しているボランティア等の受入
  - ④ 小・中・高校生等の職場体験学習の受入
- (8) 感染症対策として、次の通り実施します。
  - ① 感染症予防対策会議の開催
  - ② 施設内感染予防に努めます。

(9) 危機管理について、次の通り実施します。

- ① 個人情報の管理に努めます。
- ② 認知症等により行方不明になる心配のある方については、うるま市認知症SOSに事前に登録します。
- ③ 施設内外の環境整備に努めます。

(10) 職員の資質向上について

職員の専門性を高める為、施設内及び県内外の各種研修会等に積極的に参加するように努めます。

#### 4. 行事計画

月	行 事
5月	母の日
6月	父の日・消火避難訓練 ハーリー見学・親睦会
8月	旧盆 8/10~8/12
12月	年末大掃除・消火避難訓練
1月	年賀式
2月	沖縄マラソン応援
3月	ひな祭り
毎月	DVD鑑賞会（第2日曜日）

#### 5. 研修計画

##### 施設内研修

研 修 内 容	内 容	開 催 時
サ高住会議	入居者状況確認・業務内容確認	毎月
研修報告会	各種研修参加者より報告	随時
職務会	各事業所の報告会	2ヶ月毎
勉強会	テーマ決めて実施・外部講師依頼等	随時

##### 施設外研修

研 修 内 容	対 象 者
リスクマネジメント研修	相談員・介護職員等
認知症研修	相談員・介護職員等
高齢者虐待防止等の研修	相談員・介護職員等
感染症対策・食中毒予防研修	相談員・介護職員・調理員